

IRB 番号「 2014-1109 」

研究課題名「 芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討 」

1. 研究の対象

がん研有明病院（旧癌研究会付属病院）または研究協力機関で腫瘍の生検または摘出を受け、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍(blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm, 以下 BPDCN)（旧診断名：芽球性 NK 細胞白血病・リンパ腫）あるいは BPDCN と区別が難しい疾患と診断された方のうち、解析可能な腫瘍組織検体が保存されている方を対象とします。

2. 研究目的・方法

BPDCN は、免疫に関与する未熟な細胞から発生し、最近になって疾患概念として確立したまれな腫瘍性疾患です。急激な経過をとる悪性疾患ですが、その診断は難しく、最良な治療もいまだ明らかではありません。有効な診断法・治療法の開発のため、この疾患の性質や病態の理解が強く求められていますが、まだ不明な点が多いのが現状です。

この研究の目的は、BPDCN の腫瘍細胞の病理学的所見、遺伝子異常などを解析し、分子病理学的な理解を深め、病気の悪性度を予測する方法の検討や、治療のターゲットとなるような分子の同定を行うことです。BPDCN の診断と治療の進歩につながることを期待されます。

研究期間は、2015 年 3 月（倫理審査委員会承認後）～ 2025 年 3 月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、病変の部位、治療内容、治療に対する反応性と結果、病理検体番号等

試料：生検や手術で摘出した組織のうち診断等にもちいた残余部分 等

4. 外部への試料・情報の提供

生体試料や情報・データは、分析する前に氏名・住所・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけ、誰のものかわからないようにした上で取り扱われます。データは当会外部と接続しないコンピュータにパスワードをかけた上で厳重に保管します。

5. 研究組織

公益財団法人がん研究会がん研究所分子標的病理プロジェクト 竹内賢吾
京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座 小川誠司

既存試料・情報の提供を行う機関として、全国約 70 機関から協力を得ており、今後も追加される可能性があります。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

竹内 賢吾（研究責任者，研究代表者）

公益財団法人がん研究会

がん研究所 分子標的病理プロジェクト

有明病院 病理部

135-8550 東京都江東区有明 3-8-31 電話 03-3520-0111

-----以上